

校長あいさつ

川 南 真 一

学校のキャッチフレーズ 「なかよく かしく たくましく 学校有用感あふれる八石小学校」

今年の春は4月になっても桜の開花の様子が長く見られ、新たなスタートにおいて、一層気分を高めてくれる感があります。そんな中で令和6年度がスタートしました。校長の川南 真一（かわみなみ しんいち）でございます。校長3年目となりました。引き続き1年間よろしくお願いいたします。

昨年度1年間は、新型コロナウイルス感染症の扱いが変更、日常行動の制約も少しずつ緩和され、コロナ禍前のような環境下が戻りつつありました。本校では幸いにも長期の欠席、閉鎖にするような状況もなく、児童も教職員も健康であったことから、ねらい・目標を明確にした上で、教育活動をほぼ予定通り実施できました。

今年度は、私自身3年目を迎えるにあたり、一定の成果を見出さなければという思いがあります。その一つが学力向上です。子どもたちには、確かな学力の基礎基本、豊かな心・体力等身に付けさせることは、学校の最大の命題と捉えています。「（教師は）授業をしっかりと行っていく、（子どもは）授業をしっかりと受ける」日々の積み重ねがあってこそその成果として、本校は「授業改善」を研究テーマに、今年度研究発表会を開催する予定です（11月6日）。

もう一つが、「学校有用感」の具現化です。そのバロメーター「八石小はいい学校」というものがどこに起因しているのか、学校への誇り・存在意義として誰もが（児童・教職員・保護者）持てるようにしたい。そのための検証アンケート（仮）を12月に実施したいと考えております。

今年度の学校経営方針については、グランドデザインでまとめましたので、ホームページでご覧いただければ幸いです。本校の全教職員は、子どもたちの教育活動の計画、指導、実践に尽力する所存です。是非、家庭・地域の方々には引き続きご理解・ご協力いただきと存じます。